

令和4年度

高校生のための

熊大ワクワク

事業の記録



目 次

1. はじめに	1
2. 高校生のための熊大ワクワク連続講義		
1)開講一覧	3
2)募集案内	4
3)実施状況	20
4)アンケート	23
5)講義風景	33
3. ワクワク研究室訪問		
1)実施要領	35
2)申込用紙	36
3)実施状況	37
4. 令和4年度高大連携推進関係主要行事一覧	39

1. はじめに

令和2年から始まった新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため、高大連携事業も大きな制限を受けてきました。本年度（令和4年度）も第7波（令和4年夏）と第8波（令和4～5年冬）の急激な感染拡大のため、参加者の学年を指定して参加者数を抑えるなど活動が制限されたものも多くありました。その中で、平成24年度から開始した高大連携推進プロジェクトは昨年度（令和3年度）より多くの活動を実施させて頂きました。参加頂いた高校生の皆さん、開催にご協力頂いた高校の教職員の方々、講師を担当された熊大の先生方、大変ありがとうございました。この場を借りて感謝申し上げます。

3年ぶりに令和4年7月31日に熊本大学で開催した「高校生のための熊大ワクワク連続講義」（以下、「ワクワク連続講義」という）の「夏季プログラム」は、第7波の感染拡大時期での実施となりました。そのため、申し込んで頂きながら受講できなかった方も多かったようですが、のべ人数で475名の方にご参加頂きました。また、部分的に開催していました「ワクワク連続講義」の「サテライト講義」は、八代、水俣、天草、鹿本、人吉、荒尾・玉名、大津と計画した全ての箇所を実施し、全受講者数が733名と多くの高校生に参加頂きました。この取り組みは、「夏季プログラム」と「サテライト講義」の両方も参加された高校生から好評を頂いています。次年度（令和5年度）も、開催日程も見直ししながら、引き続き実施していきたいと考えています。

「ワクワク研究室訪問（漱石・寅彦プロジェクト）」は募集を中止していましたが、実施してほしいとの意見をいただいていたので、令和4年6月から募集を再開しました。講義に比べると「密」な活動となるため、第7波や第8波の影響もあり、申込件数は限定的でしたが、3件実施することができました。次年度（令和5年度）はより多く実施できることを期待しています。

熊本大学では今後も高大連携事業を充実させていきたいと考えています。本事業に参加された高校生の皆さんが、研究に興味をもち、自分から課題をみつけ、より深く勉強したい、研究したいと思う対象を見つけるきっかけになれば幸いです。

令和5年3月

入試・高大連携担当副学長 市川聡夫

2. 高校生のための熊大ワクワク連続講義

高校生のための熊大 ワクワク連続講義

令和4年度 開催一覧

《受講対象》高校生及び高校教諭等

地域	開催日	授業時間	講師名	専門領域	会場	コマ数
八代	6月11日(土)	[1限]10:30-12:00	内藤 大海	刑事訴訟法	やつしろ ハーモニーホール	2
		[2限]13:00-14:30	中西 義孝	機械工学・ バイオエンジニアリング		
水俣	7月9日(土)	[1限]9:00-10:30	引地 力男	環境に配慮したものづくり	県立水俣高等学校	2
		[2限]10:45-12:15	小池ウルスラ ヘレナ	近代史：比較文化論		
天草	7月16日(土)	同時2コマ開催	大石 康晴	スポーツ生理学	県立天草高等学校	2
		13:30-15:00	峯 洋二	材料工学		
夏季 プログラム	7月31日(日)	[1限]10:25-11:55	高橋 慶太郎	物理学(宇宙論、電波天文学)	本学	合計6コマ (2教室× 3コマ)
			坂上 拓郎	呼吸器内科		
		[2限]12:55-14:25	川越 明日香	教育心理学 コミュニケーション		
			宮崎 誓	数学		
		[3限]14:40-16:10	マスデン真理子	日本語教育		
			大林 光念	自律神経学、臨床検査医学		
鹿本	8月27日(土)	[1限]9:00-10:30	本吉 大介	特別支援教育心理学	県立鹿本高等学校	2
		[2限]10:45-12:15	菰原 義弘	細胞病理学		
人吉	9月10日(土)	同時2コマ開催	シムズランダーブライアント	教育技術	県立人吉高等学校	2
		10:15-11:45	首藤 剛	薬学		
荒尾玉名	9月24日(土)	[1限]9:00-10:30	益 敏郎	ドイツ文学	玉名市民会館	2
		[2限]10:50-12:20	大平 慎一	化学(分析化学)		
大津	10月22日(土)	同時2コマ開催	吉武 由彩	地域社会学	県立大津高等学校	2
		13:30-15:00	鳥居 修一	熱流体工学 (再生可能エネルギー)		

※八代、本学、荒尾・玉名地域については、参加募集は開催1か月前をめどに本学ホームページにて告知・募集を行います。また、該当地区の高等学校へチラシを郵送する予定です。参加希望の方は高等学校の先生を通して申込をお願いします。

※申込者多数が定員を上回る場合は高大連携推進室にて調整を行うことがあります。

【申込・問合せ】
 熊本大学高大連携推進室
 tel: 096-342-2712
 e-mail: gag-koda@jimu.kumamoto-u.ac.jp

高校生のための熊大

ワクワク連続講義

in やつしろ

＝令和4年度サテライトプログラム受講生募集案内＝

《開催場所》 桜十字ホールやつしろ(やつしろハーモニーホール)
《受講対象》 高校生および高校教諭等

	時限 (開講時間)	講義No.	講義タイトル	会場
			担当講師・所属部局	
6/11(土)	1限目 (10:30-12:00)	1	法学部での学びー法解釈学に触れてみようー 法学部 内藤 大海 教授	市民ホール
	2限目 (13:00-14:30)	2	トライボロジー (すべり学) と社会 工学部 中西 義孝 教授	市民ホール

《担当の先生方へ》

《参加申込》各学校毎に、所定の申込様式(※)によりお取りまとめのうえ、6月1日(水)までに熊本大学高大連携推進室に電子メールでお申し込みください。



※【参加申込様式】

熊本大学のwebページ

(<http://www.kumamoto-u.ac.jp/>)より

トップページ → 「入試案内」 → 「高大連携」内の「高校生のための熊大ワクワク連続講義」をクリック。

関係ページから、「参加申込書.xls」をダウンロードしてください。

※申込多数の場合、熊本大学で調整させていただくことがあります。調整を行う場合は、6月3日(金)までにご連絡します。

※天候等の都合でやむなく中止する際はホームページ上でお知らせしますので、必ずご確認ください。

やつしろハーモニーホール案内図



【申込・問合せ】

熊本大学高大連携推進室

tel:096-342-2712

e-mail: gag-koda@jimu.kumamoto-u.ac.jp

1

6月11日(土) 1時限 10:30~12:00

法学部 内藤 大海 教授

テーマ：法学部での学び－法解釈学に触れてみよう－

内容： 法学部で学ぶ内容は条文を覚えることではありません。条文が直接当てはまりにくいような事案がある場合に、条文の意味を解釈し適用する必要があります。例えば、刑法には暴行罪と傷害罪がありますが、犯人が被害者を殴ってちょっとした擦り傷ができたとします。この場合、暴行罪が成立するのは当然だとして、さらに傷害罪の成立も認められるでしょうか。どちらの罪にあたるかは「傷害」の内容を確定させる必要があります。この講義では法学部で学ぶこのような条文解釈について触れてもらいます。

講師紹介： 刑事訴訟法の授業を担当しており、捜査の適法性を中心に研究をしています。とくにおとり捜査について学問的関心を持っており、その作業の一環としてドイツと日本の比較研究を行なっています。2018年度はハンブルクで在外研究(留学)に従事しました。

関連教科またはキーワード： 公民、刑事訴訟(刑事裁判)

2

6月11日(土) 2時限 13:00~14:30

工学部 中西 義孝 教授

テーマ：トライボロジー(すべり学)と社会

内容： トライボロジー(すべり学)は「相対運動しながら互いに影響し合う2つの表面の間に起こるすべての現象を対象とする科学と技術」とOECD(経済協力開発機構)で定義された言葉です。工業的には機械の摩擦を減らしたり、寿命を延ばしたりするために活用されています。“すべり”が関連する現象は私たちの身近に存在しているばかりか、私たちの体にも存在します。たくさんの事例を紹介しながら「すべり学」と社会の関係を解いていきましょう。

講師紹介： 工学・機械工学系を専門としています。その中でも“すべり学”に関連した研究をおこなっているため、医療・介護・省エネ/再生可能エネルギー・環境保全・航空/宇宙分野など、いろいろな方々との共同作業を行ってきました。皆さんに身近な話題でありながらも、びっくりするような気づきを紹介できると思います。

関連教科またはキーワード： 物理、化学、生物、数学、地学

高校生のための熊大

ワクワク連続講義

水俣高校

みなさんの学校で
熊本大学を代表する研究者が講義をします！

《令和4年度サテライトプログラム受講生募集案内》

7月9日（土）

開催場所：熊本県立水俣高等学校

1限 9:00-10:30	水俣から未来をつくる (持続可能な発展に即した進路選択) 引地 力男 教育学部 准教授
2限 10:45-12:15	Organized Humanitarianism - The Birth of the Red Cross 「人道主義の組織化 - 赤十字の誕生」 小池ウルスラ ヘレナ 大学教育統括管理運営機構 教授

高校の先生方へ：所定の様式によりおとりまとめのうえ、6月29日までに、熊本大学高大連携推進室に電子メールでお申し込み下さい。

【申込み・問合せ】
熊本大学高大連携推進室
TEL：096-342-2712
e-mail：gag-koda@jimu.kumamoto-u.ac.jp

1**7月9日（土） 1時限 9：00～10：30****引地 力男 教育学部 准教授****テーマ：水俣から未来をつくる（持続可能な発展に即した進路選択）****内 容：**

世界や我が国そして水俣が抱えている課題について考えを深め、自分たちで解決することの意義や手法について学ぶ。そして、それを通して、自主的な将来設計へつなげる。

講師紹介：

工学教育が専門。機械（ロボット、飛行機、自動車）、最先端機械加工について研究。民間企業の技術コンサルタントにも従事。

関連教科・キーワード： 科学と人間生活、工業、環境、SDGs**2****7月9日（土） 2時限 10：45～12：15****小池ウルスラ ヘレナ 大学教育統括管理運営機構 教授****テーマ：Organized Humanitarianism – The Birth of the Red Cross****「人道主義の組織化 – 赤十字の誕生」****内 容：**

Humanitarianism is compassion towards people in need based on the idea that every human being is valuable. Human compassion has always been around, but formally organized humanitarianism started in the second half of the 19th century with the Red Cross as the most prominent example. Let's have a look at the birth of the Red Cross in different parts of the world and understand the internationally accepted fundamental principles of a global relief organization.

人道主義は、人間愛の立場から人々の福祉を図ろうとする思想態度と定義されています。人間の思いやりというのは、全ての文化において、常に存在していたと思われませんが、正式に組織化された「人道主義活動」は、19世紀後半の赤十字の誕生から始まりました。

グローバルに展開していく赤十字の歴史を学びながら、国際的救援組織の長年間の活動の中から生まれた人道主義の基本原則を理解しましょう。

講師紹介：

I was born in Switzerland and graduated from Zurich University in the field of Japanese Studies, especially Japanese modern history. After a scholarship from MEXT for a study abroad program at Tokyo University, I started to teach German at the Tokyo University of Foreign Languages and later at Hiroshima University. I came to Kumamoto University in October 2015. Presently I am a professor at the Kumamoto University Center for International Education where we offer courses taught in English and educational exchange programs to Japanese and international students.

私はスイス出身で、スイスのチューリッヒ大学で日本学科、日本近史を専攻しました。卒業後は文部省の留学生として2年間東京大学に籍を置き、その後、東京外国語大学や広島大学などで、ドイツ語講師として活躍しました。2015年の秋、熊本大学に教授として就任し、英語で授業と交流プログラムを提供する多言語文化総合教育センターの業務を担当しています。

関連教科・キーワード： 赤十字、人道主義、歴史、社会、グローバル

高校生のための熊大

ワクワク連続講義

天草高校

みなさんの学校で
熊本大学を代表する研究者が講義をします！

《令和4年度サテライトプログラム受講生募集案内》

7月16日（土）

開催場所：
熊本県立天草高等学校

同時2コマ開催 13:30～15:00	熊大教育学部についてのお話と私の研究 ～骨格筋の不思議～ 大石 康晴 教育学部 教授
同時2コマ開催 13:30～15:00	ミクروسケールで探る材料の強さの秘密 峯 洋二 工学部 教授

高校の先生方へ：所定の様式によりでとりまとめのうえ、7月6日までに、熊本大学高大連携推進室に電子メールでお申し込み下さい。

【申込み・問合せ】
熊本大学高大連携推進室
TEL：096-342-2712
e-mail：gag-koda@jimu.kumamoto-u.ac.jp

1

7月16日(土) 13:30-15:00

大石 康晴 教育学部 教授

テーマ：熊大教育学部についてのお話と私の研究～骨格筋の不思議～

内 容：高校生の皆さんにとって大学とはどういう所なのか、大学の先生はどのような研究をやっているのか、興味あることと思います。

今回の講義では、熊本大学教育学部の教育システム・入試に関するお話と、私の専門分野～骨格筋の不思議～についてお話ししたいと思います。

* 講義終了後に質問コーナーを設けますので、どんどん質問してください。

講師紹介：筑波大学卒業・同大学院修了。熊大・教育学部・保健体育科で生理学や健康スポーツ科学などの授業を担当。熊本大学医学部で医学博士の学位取得、米国カリフォルニア大学ロサンゼルス校(UCLA)留学。熊大体育会ラグビー部監督。学生時代に骨格筋の研究に出会い魅了され、現在も研究を続けています。

関連教科・キーワード：保健体育、医学・生物学、骨格筋、運動・スポーツ

2

7月16日(土) 13:30-15:00

峯 洋二 工学部 教授

テーマ：ミクロスケールで探る材料の強さの秘密

内 容：材料は、微視的に見ていくと、原子が集まることで結晶を組み、それらが集合して一つの結晶粒を作り、異なる結晶がいくつも複雑に配置して、材料が構成されています。このような材料の構造を「微細組織」と呼びます。微細組織レベル(髪の毛の太さ程度)で材料の強さを計測し、そのメカニズムを探ります。講義では「日本刀」や「鉄隕石」のミクロの世界を紹介します。「スズ鳴り」体験も準備しています。

講師紹介：長崎市出身。熊本大学を卒業後、鉄鋼メーカーの研究所に5年半勤務、九州大学を経て、2012年より熊本大学で「金属疲労」、「水素ぜい化」、「マイクロ力学試験」に関する研究を行っています。鉄鋼、ステンレス鋼、チタン合金、ニッケル超合金、KUMADAIマグネシウム合金、変わったところだと、日本刀、鉄隕石を対象にしています。

関連教科・キーワード：物理、化学

高校生のための熊大

ワクワク連続講義

《令和4年度 夏季プログラム受講生募集案内》

開催場所：熊本大学黒髪北キャンパス全学教育棟

受講対象：高校生および高校教諭等

7月31日 (日)	1限 10:25-11:55	1-1	地球外生命を探せ！～宇宙生物学の挑戦～ 担当講師：高橋 慶太郎 理学部 教授
		1-2	疾患の原因？それとも医薬品？ —抗体の二面性— 担当講師：坂上 拓郎 医学部 教授
	2限 12:55-14:25	2-1	ことばがなくても伝わる！？～心理学の世界への誘い～ 担当講師：川越 明日香 大学教育統括管理運営機構 准教授
		2-2	数学の研究って、何をしているの？ —数学研究の目指すもの 担当講師：宮崎 誓 教育学部 教授
	3限 14:40-16:10	3-1	英語からみた日本語の特徴 担当講師：マスデン真理子 大学教育統括管理運営機構 准教授
		3-2	コロナ禍の今、自律神経について深く学ぼう 担当講師：大林 光念 医学保健学科 教授

【担当の先生方へ：参加申込について】

各学校毎に、所定の申込様式(※)によりお取りまとめのうえ、**7月15日(金)まで**に熊本大学高大連携推進室へ電子メールにてお申し込みください。



※【参加申込様式】について
熊本大学のwebページ
(<http://www.kumamoto-u.ac.jp/>)より
トップページ → 「入試案内」 → 「高大連携」内の「高校生のための熊大ワクワク連続講義」をクリック。関係ページから、「[参加申込書.xls](#)」をダウンロードしてください。

なお、申込多数の場合、熊本大学で調整させていただくことがあります。

全学教育棟の場所はホームページにてご確認ください。教室は当日の案内看板を確認してください。
※天候等の都合でやむなく中止する際はホームページ上でお知らせしますので、必ずご確認ください。

【申込み・問合せ】

熊本大学高大連携推進室 TEL：096-342-2712

e-mail：gag-koda@jimu.kumamoto-u.ac.jp

7月31日(日) 1時限 10:25～11:55

1-1

高橋慶太郎 理学部 教授

テーマ：地球外生命を探せ！～宇宙生物学の挑戦～

関連教科・キーワード：物理 化学 生物 地学

内容：地球外に生命はあるのか？これは誰もが興味を持つ重要な疑問で、長らく人類の想像の対象になってきました。ところが近年、太陽系天体の探査、太陽系の外にある惑星の発見、巨大望遠鏡の建設など地球外生命を科学的に研究できる手段が発達してきており「宇宙生物学」という新しい学問が生まれています。この講義ではこれらの話題を解説し、地球外の生命、さらに知的生命にまで思いを馳せます。

講師紹介：子供の頃から宇宙が好きで図鑑や本を眺めていました。大学では物理学を専攻し、大学院で博士号を取得後にアメリカの大学で研究を続け、2011年から熊本大学理学部に勤務しています。たくさんの学生と一緒に天文学の研究や天文学の面白さを世の中に広める活動を行なっています。

7月31日(日) 1時限 10:25～11:55

1-2

坂上 拓郎 医学部 教授

テーマ：疾患の原因？それとも医薬品？ —抗体の二面性—

関連教科・キーワード

：生物、抗体医薬、自己抗体、Physician Scientist

内容：「コロナの抗体」という言葉をよく耳にしませんか？抗体は白血球の仲間が産生するウイルスなどの特定の外敵を攻撃し体を守る道具です。最近ではがんなどに対する医薬品としても使用されます。しかし、体に有益なはずの抗体が病気を引き起こすとしたら……。私達はそういった自己抗体の関係する疾患を研究しています。講義では実例の紹介を通して医学における抗体の二面性を紹介します。

講師紹介：1991年に新潟県立新潟高校を卒業。街のお医者さんを目指していましたが、大学院進学を機に臨床に沿った医学研究が面白くなりPhysician Scientistとして仕事をしてきた呼吸器内科医です。2018年に熊本大学に赴任、コロナ禍では行政への助言やテレビ出演もこなしながら、後進を良い医師に育てる事に励んでいます。

7月31日(日) 2時限 12:55～14:25

2-1

川越 明日香 大学教育統括管理運営機構 准教授

テーマ：ことばがなくても伝わる！？～心理学の世界への誘い～

関連教科・キーワード

：心理学、コミュニケーション、対人関係

内容：みなさんは、初めて会った人を見て、まずどんなことを考えますか？「この人は〇〇なタイプの人だろう」と予測を立てることはありませんか？

私たちは、ある人物についての断片的な情報から、その人に対するまとまりのある全体像を形成したり、他者に関する情報から、その人の性格を構成する要素を推論していきます。この講義では、様々なコミュニケーションのあり方について紹介するとともに、実際に体験しながら考えていきます。

講師紹介：鹿児島県出身。長崎大学教育学部に進学をし、小学校教諭を目指していましたが、大学在学中に心理学と教育方法に関心を持ち、研究者の道へと転換。現在、心理学やコミュニケーションに関する科目を担当しています。専門は、高等教育論、教育心理学。青年期の心理をベースに大学における教育改善について研究をしています。

7月31日(日) 2時限 12:55～14:25

2-2

宮崎 誓 教育学部 教授

テーマ：数学の研究って、何をしているの？ —数学研究の目指すもの

関連教科・キーワード

：数学、何にでも興味を持つこと

内容：小学校から高校まで、数学を学んでいくときに、何らかの壁を感じたことはありませんか。大学で学ぶ代数の世界を高校風に紹介し、現在行っている研究の一端を紹介します。数学の発展は新しい概念の獲得とも言えます。数理の真理を解明していく過程や数学の応用例などを歴史的順序にしたがってお話しします。数学の学び方についての私見も話します。講演を聞いて、高校数学を学ぶ意欲を掻き立てられれば幸いです。

講師紹介：熊本高校、早稲田大学出身、静岡・長野・沖縄・佐賀と2度の海外生活を経て、55歳の時に熊本に戻ってきました。専門は代数学（環論・代数幾何）、数学が好きだったことが数学者になった理由です。一人でじっくり何時間も、何年も考え続けることも大事ですが、コミュニケーションは研究を進展させます。研究生生活を通して世界中のいろいろな方と出会えたことが数学者になって良かったことです。

7月31日(日) 3時限 14:40～16:10

3-1

マスデン真理子 大学教育統括管理運営機構 准教授

テーマ：英語からみた日本語の特徴

関連教科・キーワード：英語、国語

内容：「国語」ではなく、外国人に「日本語」を教えると、普段気づかない日本語の特徴が見えてきます。例えば、「お母さんに泣かれた」や「先生が作文を直してくださいました」の下線部分を、日本語学習者は「泣いた」や「直しました」としがちです。この講義では、このような留学生の日本語の様々な「まちがい」の例を材料として、日本語と英語の「ちがい」や日本語のものの見方の特徴（癖）について考えていきます。

講師紹介：学習院大学卒業後、故郷の茨城で公立高校の教諭。4年後、米国イリノイ州立大学で英語教授法を学びつつ、日本語学科の助手として働きました。卒業後はポーデイン大学アジア学科で日本語を教えました。夫の仕事で、熊本に移り住み30年になります。専門は日本語教育、異文化間コミュニケーションです。

7月31日(日) 3時限 14:40～16:10

3-2

大林 光念 医学部保健学科 教授

テーマ：コロナ禍の今、自律神経について深く学ぼう

関連教科・キーワード：生物学

内容：自律神経機能は、ヒトの健康や生活の質（Quality of Life: QOL）を大きく左右するものであり、その障害や機能異常、アンバランスを早期に検出することは、体調の変化や様々な疾患の早期発見・早期治療に繋がります。したがって、一般の方にはなじみ薄かもしれませんが、現実の医療現場では驚くほど多くの自律神経機能検査が行われているのです。コロナ禍が長期化し、心身の不調を訴える方も多い今だからこそ、自律神経の機能、そして自律神経機能検査法について深く知り、自らの、そして周囲の方々の健康、QOLを守る方法を身につけましょう。

講師紹介：大林光念・熊本大学大学院生命科学研究部(保健学系)構造機能解析学講座・教授、脳神経内科専門医、臨床検査専門医、1993年大分医科大学卒業、2001年熊本大学大学院医学研究科博士課程修了(博士(医学)取得)、日本自律神経学会理事、日本自律神経学会自律神経機能検査法委員会委員、日本臨床検査医学会評議員、受賞歴：2007年日本内科学会奨励賞、2011年日本臨床検査医学会優秀賞、など。

高校生のための熊大 ワクワク連続講義 鹿本高校

みなさんの学校で
熊本大学を代表する研究者が講義をします！

《令和4年度サテライトプログラム受講生募集案内》

8月27日（土）

開催場所：
熊本県立鹿本高等学校

1時限 9:00～10:30	苦手なこと（障害）を改善・克服するための教育 本吉 大介 教育学部 准教授
2時限 10:45～12:15	「免疫」の観点から、感染症やがんの病態を理解してみよう 菰原 義弘 医学部 教授

【ご担当の先生方へ】

所定の様式によりおとりまとめのうえ、**8月18日まで**に、熊本大学高大連携推進室に電子メールでお申し込み下さい。

【申込み・問合せ】

熊本大学高大連携推進室

TEL：096-342-2712

e-mail：gag-koda@jimu.kumamoto-u.ac.jp

1

8月27日(土) 9:00-10:30

本吉 大介 教育学部 准教授

テーマ：苦手なこと(障害)を改善・克服するための教育

内 容：障害がある子どもが通う特別支援学校や特別支援学級には「自立活動」という授業があります。ほとんどの人は聞いたことがない科目だと思います。

自立活動の大きな目的は“障害による学習上または生活上の困難を主体的に改善・克服する”ことです。“障害”にはなじみがなくても“苦手”は誰にでもあります。

特別支援教育の考え方を参考に、自分の“苦手”との付き合い方、乗り越え方、セルフプロモーションの仕方を考えてみましょう。

講師紹介：スポーツ選手の動きの熟達について心理学的に研究したいと思って大学で学びました。関連領域も熱心に学んだところ、身体が不自由な子どものリハビリ、障害がある子どもの教育など思いがけない方向へ進んできました。人生折り返してもいないのでまだまだ楽しみです。

【臨床心理士・公認心理師】

関連教科・キーワード：総合的な探求の時間

2

8月27日(土) 10:45-12:15

菰原 義弘 医学部 教授

テーマ：「免疫」の観点から、感染症やがんの病態を理解してみよう

内 容：この数年、「免疫」という言葉を良く聞くとおもいます。感染症と免疫は密接な関係にあることは皆さんご存じかと思いますが、現在、日本人の二人に一人が生涯のうちに一度は罹患するといわれている「がん」にも免疫が関わります。本講義では、「免疫」が「感染症」や「がん」にどのように関係しているのかを紹介します。

今回の講義は、大学生1年生用に作成したものを若干、簡単な内容にしたものです。

講師紹介：熊本大学医学部医学科を卒業して、「病理医」という医師になりました。同時に、大学に勤務して、学生の講義や実習を担当する傍ら、マクロファージという免疫細胞に注目した研究も行っています。

関連教科・キーワード：生物学

高校生のための熊大

ワクワク連続講義

人吉高校

みなさんの学校で
熊本大学を代表する研究者が講義をします！

《令和4年度サテライトプログラム受講生募集案内》

9月10日（土）

開催場所：
熊本県立人吉高等学校

2コマ同時開催 10:15～11:45	Advanced English Communication シムズランダー プライアント 大学教育統括管理運営機構 講師
2コマ同時開催 10:15～11:45	薬学から社会課題の解決を目指して -健康寿命延伸社会の実現- 首藤 剛 薬学部 准教授

【ご担当の先生方へ】

所定の様式によりおとりまとめのうえ、**8月31日まで**に、熊本大学高大連携推進室に電子メールでお申し込み下さい。

【申込み・問合せ】

熊本大学高大連携推進室

TEL：096-342-2712

e-mail：gag-koda@jim.kumamoto-u.ac.jp

1

9月10日（土） 10:15-11:45

シムズランダー ブライアント 大学教育統括管理運営機構 講師

テーマ：Advanced English Communication

内 容：小学校からずっと英語を勉強しているのに「英語で話す自信がない」と思っている人はいませんか？大学で異文化コミュニケーション活動を行うたびに「日本人はシャイ」のようなステレオタイプを留学生等からよく聞きます。私はそのような意見は異文化理解における重要なポイントを見損なっていると考えます。この授業では、英語コミュニケーション能力に関する言語的、社会言語的、方略的な考え方について学んでいきます。

※本講義は平易な英語で実施します。

講師紹介：アメリカ・アリゾナ州出身。2008年に来日し、以来熊本県在住。専門分野は人類学と教育技術。Advanced English Communicationを含め、英語による教養教育科目を複数担当している。また、グローバルリーダーコース（GLC）の運営・教育にも携わっている。

関連教科・キーワード：英語、コミュニケーション、異文化理解

2

9月10日（土） 10:15-11:45

首藤 剛 薬学部 准教授

テーマ：薬学から社会課題の解決を目指して-健康寿命延伸社会の実現-

内 容：「健康寿命」とは、人々が健康的に生きる期間をさし、超高齢化社会を迎える日本にとって、重要なキーワードの一つです。薬学は、化学・生物・物理・医療の知識を基盤として、人々の「健康寿命」の延伸に貢献する学問です。本講義では、健康延伸社会に立ち向かう薬学研究に焦点をあてるとともに、大学で作り上げる技術がどのように社会に役立っていくかについてご紹介します。

講師紹介：大分県出身。薬剤師を目指して熊大薬学部に入学したが、大学院修士課程在籍中に、人生を左右する異例の海外留学を経験。帰国後、熊本大学で助手に着任し、現在、准教授。大学では、薬学研究に従事しつつ、熊大公開講座「健幸薬学」シリーズの講師も担当。最近、線虫を活用した健康寿命の見える化技術で大学発ベンチャーの社長も兼任。

関連教科・キーワード：薬学、健康寿命、超高齢化社会、線虫、起業、ベンチャー企業

高校生のための熊大 ワクワク連続講義 荒尾・玉名地区

＝令和4年度サテライトプログラム受講生募集案内＝

《開催場所》玉名市民会館(マルチホール)

《受講対象》高校生および高校教諭等

	時限 (開講時間)	講義No.	講義タイトル	会場
			担当講師・所属部局	
9/24 (土)	1限目 (9:00-10:30)	1	私たちはどれほど「文学的」なのか—— 大学で文学を研究することについて 益 敏郎 文学部 准教授	マルチホール
	2限目 (10:50～12:20)	2	化学物質をはかる～はかつてなんぼの分析化学～ 大平 慎一 理学部 教授	マルチホール

《担当の先生方へ》

参加申込の際は、各学校毎に所定の申込様式(別添資料)によりお取りまとめのうえ、**9月7日(水)**までに熊本大学高大連携推進室へ返信にて電子メールでお申し込みください。

※申込多数の場合、熊本大学で調整させていただくことがあります。調整を行う場合は、**9月9日(金)**までにご連絡します。

※天候等の都合でやむなく中止する際はホームページ上でお知らせしますので、必ずご確認ください。



【申込・問合せ】
熊本大学高大連携推進室
tel:096-342-2712

e-mail: gag-koda@jimu.kumamoto-u.ac.jp

1

9月24日（土） 9:00-10:30

益 敏郎 文学部 准教授

テーマ：私たちはどれほど「文学的」なのか——

大学で文学を研究することについて

内 容：大学で「文学」の研究をするとはどういうことなんでしょうか。読む人によって感想が変わってくるような文学をなぜ…。しかしこんな理論があります。一見ばらばらな読者の想像力こそ、世の中の成り立ち、とりわけ近代世界の成り立ちを理解する鍵である——。これを手がかりに、大学で文学を研究すること、さらに学校の国語で文学作品を扱うことなどについて、私の専門であるドイツ文学に引きつけながら考えていきたいと思います。

講師紹介：1989年生。広島県出身。文学や哲学に本格的な興味を持つようになったのは高校3年生の時だったと思います。大学で文学部に進み、大学院時代にベルリン（熊の街）に留学。2020年に博士論文を提出。2021年から熊本大学でドイツ語、ドイツ文学、国際文化学の科目を担当。駆け出しの研究者です。

関連教科・キーワード：国語、世界史。または文学、言語、想像力。

2

9月24日（土） 10:50-12:20

大平 慎一 理学部 教授

テーマ：化学物質をはかる～はかつてなんぼの分析化学～

内 容：私たちの身の周りのあらゆるものは、自分自身の体も含めて化学物質でできています。化学物質をはかることで環境や体の今の状態を把握することができます。分析化学は、新たな化学計測の原理・技術の発案・実践、溶液内での化学物質の状態を科学的に研究する学問です。みなさんのまわりでも行われている様々な“化学物質をはかる”を例にあげ、分析化学を紹介します。

講師紹介：熊本県天草出身。熊本大学で博士（理学）の学位を取得後、アメリカのテキサス大学、テキサス大学アーリントン校に3年間留学。化学物質の測定原理、測定法を研究しており、開発した手法を大気・土壌・水の環境試料から呼吸や尿などの生体試料、超純水や産業用ガス中微量成分の分析に展開している。

関連教科・キーワード：化学 生物 物理 地学 イオン、環境、医療診断

高校生のための熊大

ワクワク連続講義

大津高校

みなさんの学校で
熊本大学を代表する研究者が講義をします！

《令和4年度サテライトプログラム受講生募集案内》

10月22日（土）

開催場所：
熊本県立大津高等学校

2コマ同時開催 13:30～15:00	地域社会学を学ぶ：農村の未来を考えよう 吉武 由彩 文学部 准教授
2コマ同時開催 13:30～15:00	温暖化とエネルギーの今後 (対策としてのバイオマスの熱エネルギー利活用) 鳥居 修一 工学部 教授

【ご担当の先生方へ】

所定の様式によりおとりまとめのうえ、**10月12日まで**に、熊本大学高大連携推進室に電子メールでお申し込み下さい。

【申込み・問合せ】

熊本大学高大連携推進室

TEL：096-342-2712

e-mail：gag-koda@jimu.kumamoto-u.ac.jp

1

10月22日（土） 13:30～15:00

吉武 由彩 文学部 准教授

テーマ：地域社会学を学ぶ：農村の未来を考えよう

内 容： 地域社会学の研究の手がかりは私たちの生活の身近にあります。地域社会学の観点から、農村の未来を考えてみましょう。近年、限界集落や地方消滅などの言葉を聞くことがありますが、本当に農村は「限界」なののでしょうか？地域での生活や地域意識に関する研究結果から、農村の未来を考えていきます。

講師紹介： 長崎市出身。山口県や福岡県での大学勤務経験を経て、2021年から熊本大学文学部総合人間学科の地域社会学研究室に所属しています。農村高齢者の生活に関する研究や、ボランティア活動や地域福祉活動に関する研究に取り組んでいます。熊本大学では地域社会学、地域福祉社会学、社会調査に関する授業を担当しています。

関連教科・キーワード： 地域社会学、農村、未来、高齢者、地域意識、生活

2

10月22日（土） 13:30～15:00

鳥居 修一 工学部 教授

テーマ：温暖化とエネルギーの今後

（対策としてのバイオマスの熱エネルギー利用）

内 容： 世界規模で温暖化と思われる現象が発生している。その抑制のためには、脱炭素化を目指して、再生可能性エネルギーへの移行が急務となっている。そこで、まず、再生可能性エネルギーの紹介を示しながら、その中でバイオマスを用いた取り組み、特にバイオマスの熱利用について研究紹介する。

更に、大津町を含む18市町村による熊本連携中枢都市として、脱炭素への取り組みについて紹介する。

講師紹介： 国際化推進センター副センター長、グローバル教育カレッジ副カレッジ長として、約10年間本学の国際関連事業を務めた。熊本県総合エネルギー計画改定検討委員会で副委員長として活動し、熊本連携中枢都市圏地球温暖化対策事項計画議会会長として脱炭素ロードマップを構築した。

関連教科・キーワード： 物理、化学、数学、英語

高校生のための熊大 ワクワク連続講義

～ 令和4年度サテライトプログラム 実施状況 ～

1. 《開催場所》桜十字ホールやつしろ（やつしろハーモニーホール） 《受講対象》高校生および高校教諭等

	時限 (開講時間)	講義No.	講義タイトル	会場	申込者数	受講者数	受講者内訳				参加率
			担当講師・所属部局				1年生	2年生	3年生	他・不明	
6/11(土)	1限目 (10:30-12:00)	1	法学部での学び—法解釈学に触れてみよう—	市民ホール	136	122	119	1	2	0	90%
			法学部 内藤 大海 教授								
	2限目 (13:00-14:30)	2	トライボロジー（すべり学）と社会	市民ホール	99	99	92	6	1	0	100%
			工学部 中西 義孝 教授								
(合計)					235	221	211	7	3	0	94%

2. 《開催場所》水俣高等学校 《受講対象》高校生および高校教諭等

	時限 (開講時間)	講義No.	講義タイトル	会場	申込者数	受講者数	受講者内訳				参加率
			担当講師・所属部局				1年生	2年生	3年生	他・不明	
7/9(土)	1限目 (9:00-10:30)	1	水俣から未来をつくる (持続可能な発展に即した進路選択)	2階会議室	43	42	0	40	0	2	98%
			引地 力男 教育学部 准教授								
	2限目 (10:45-12:15)	2	Organized Humanitarianism - The Birth of the Red Cross 「人道主義の組織化 - 赤十字の誕生」	2階会議室	44	42	0	40	1	1	95%
			小池ウルスラ ヘレナ 大学教育統括管理運営機構 教授								
(合計)					87	84	0	80	1	3	97%

3. 《開催場所》天草高等学校 《受講対象》高校生および高校教諭等

	時限 (開講時間)	講義No.	講義タイトル	会場	申込者数	受講者数	受講者内訳				参加率
			担当講師・所属部局				1年生	2年生	3年生	他・不明	
7/16(土)	同時2コマ開催 (13:30-15:00)	1	熊大教育学部についてのお話と私の研究 ～骨格筋の不思議～	特別教室棟 1階視聴覚室	26	26	11	7	8	0	100%
			大石 康晴 教育学部 教授								
	同時2コマ開催 (13:30-15:00)	2	マイクロスケールで探る材料の強さの秘密	学習センター2階大 研修室	31	27	8	16	3	0	87%
			峯 洋二 工学部 教授								
(合計)					57	53	19	23	11	0	93%

～ 令和4年度サテライトプログラム 実施状況 ～

4. 《開催場所》鹿本高等学校
《受講対象》高校生および高校教諭等

	時限 (開講時間)	講義No.	講義タイトル 担当講師・所属部局	会場	申込者数	受講者数	受講者内訳				参加率
							1年生	2年生	3年生	他・不明	
8/27(土)	1限目 (9:00-10:30)	1	苦手なこと(障害)を改善・克服するための教育	セミナーハウス1F研修室	26	15	3	11	0	1	58%
			本吉 大介 教育学部 准教授								
	2限目 (10:45-12:15)	2	「免疫」の観点から、感染症やがんの病態を理解してみよう	セミナーハウス1F研修室	19	16	5	10	0	1	84%
			菰原 義弘 医学部 教授								
(合計)					45	31	8	21	0	2	69%

5. 《開催場所》人吉高等学校
《受講対象》高校生および高校教諭等

	時限 (開講時間)	講義No.	講義タイトル 担当講師・所属部局	会場	申込者数	受講者数	受講者内訳				参加率
							1年生	2年生	3年生	他・不明	
9/10(土)	同時2コマ開催 (10:15-11:45)	1	Advanced English Communication	教育棟3F学習室	26	22	15	7	0	0	85%
			シムズランダー プライアント 大学教育統括管理運営機構 講師								
	同時2コマ開催 (10:15-11:45)	2	薬学から社会課題の解決を目指して -健康寿命延伸社会の実現-	管理棟3F合併(視聴覚)教室	32	23	20	3	0	0	72%
			首藤 剛 薬学部 准教授								
(合計)					58	45	35	10	0	0	78%

6. 《開催場所》玉名市民会館
《受講対象》高校生および高校教諭等

	時限 (開講時間)	講義No.	講義タイトル 担当講師・所属部局	会場	申込者数	受講者数	受講者内訳				参加率
							1年生	2年生	3年生	他・不明	
9/24(土)	1限目 (9:00-10:30)	1	私たちはどれほど「文学的」なのか—— 大学で文学を研究することについて	マルチホール	144	129	128	0	0	1	90%
			益 敏郎 文学部 准教授								
	2限目 (10:50-12:20)	2	化学物質をはかる～はかつてなんぼの分析化学～	マルチホール	138	124	122	2	0	0	90%
			大平 慎一 理学部 教授								
(合計)					282	253	250	2	0	1	90%

7. 《開催場所》大津高等学校
《受講対象》高校生および高校教諭等

	時限 (開講時間)	講義No.	講義タイトル 担当講師・所属部局	会場	申込者数	受講者数	受講者内訳				参加率
							1年生	2年生	3年生	他・不明	
10/22(土)	同時2コマ開催 (13:30-15:00)	1	地域社会学を学ぶ：農村の未来を考えよう	2年4組教室	23	22	4	13	5	0	96%
			吉武 由彩 文学部 准教授								
	同時2コマ開催 (13:30-15:00)	2	温暖化とエネルギーの今後(対策としてのバイオマスの熱エネルギー活用)	2年3組教室	26	24	17	5	2	0	92%
			鳥居 修一 工学部 教授								
(合計)					49	46	21	18	7	0	94%

サテライト プログラム	申込者数	受講者数	受講者内訳				参加率
			1年生	2年生	3年生	他・不明	
(総合計)	813	733	544	161	22	6	90%

高 校 生 の た め の 熊 大 ワ ク ワ ク 連 続 講 義

～ 令和4年度熊本大学夏季プログラム 実施状況 ～

《開催場所》熊本大学黒髪北キャンパス 全学教育棟 E107教室・E205教室・E305教室・C301教室
 《受講対象》高校生および高校教諭等

	時限 (開講時間)	講義No.	講義タイトル		会場	申込者数	受講者数	受講者内訳				参加率	
			担当講師・所属部局					1年生	2年生	3年生	他・不明		
7/31 (日)	1限目 (10:25-11:55)	1-1	地球外生命を探せ!～宇宙生物学の挑戦～ 高橋 慶太郎 理学部 教授		E205 教室	77	65	34	21	9	1	84%	
		1-2	疾患の原因?それとも医薬品? —抗体の二面性— 坂上 拓郎 医学部 教授		E107 教室	130	111	53	42	16	0	85%	
	2限目 (12:55-14:25)	2-1	ことばがなくても伝わる!?～心理学の世界への勝負～ 川越 明日香 大学教育統括管理運営機構 准教授		C301 教室	135	120	52	51	15	2	89%	
		2-2	数学の研究って、何をしているの? —数学研究の目指すもの 宮崎 誓 教育学部 教授		E305 教室	80	62	32	9	21	0	78%	
	3限目 (14:40-16:10)	3-1	英語からみた日本語の特徴 マスデン眞理子 大学教育統括管理運営機構 准教授		E205 教室	84	64	25	19	19	1	76%	
		3-2	コロナ禍の今、自律神経について深く学ぼう 大林 光念 医学部保健学科 教授		E107 教室	80	53	20	25	8	0	66%	
	(合 計)						586	475	216	167	88	4	81%

※他・不明は、教員及び学年不明の者

令和4年6月11日(土)

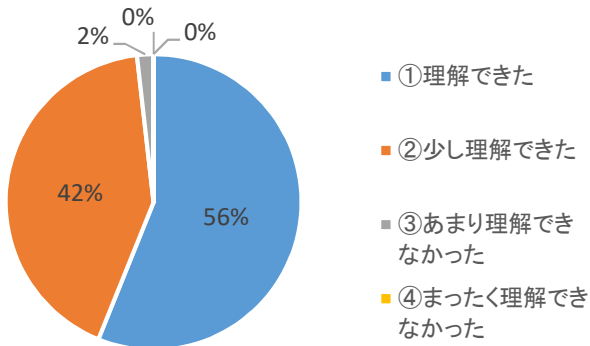
受講者数 221 名

アンケート回答数 221 名

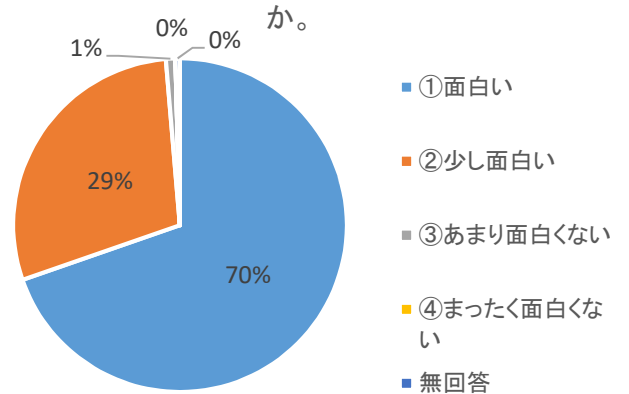
学年	人数
1年	211
2年	7
3年	3
教員・不明	0
合計	221

性別	人数
男	107
女	114
無回答	0
合計	221

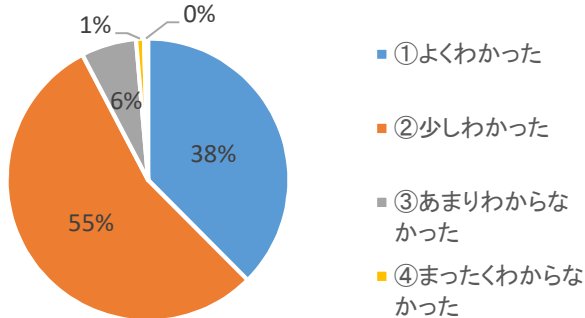
1)研究の動機、目的や意義を理解できましたか。



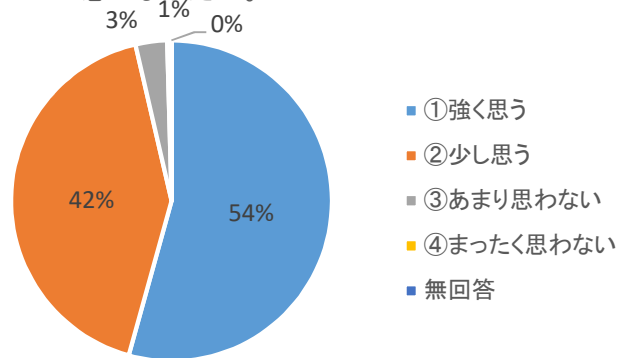
2)研究内容はおもしろそうだと思いますか。



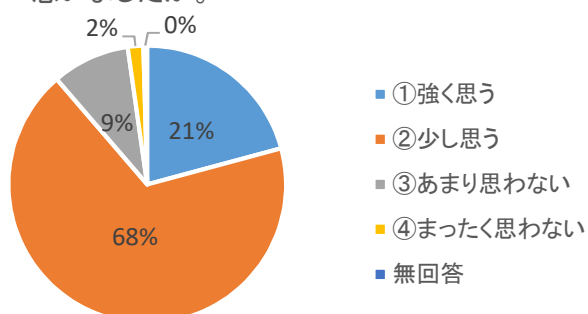
3)高校で学んでいることと大学で学ぶこと
の
つながりがわかりましたか。



4)この講義を受講して大学で学びたいと思われましたか。



5)この講義を受講して熊本大学で学びたい
と
思いましたか。



令和4年7月9日(土)

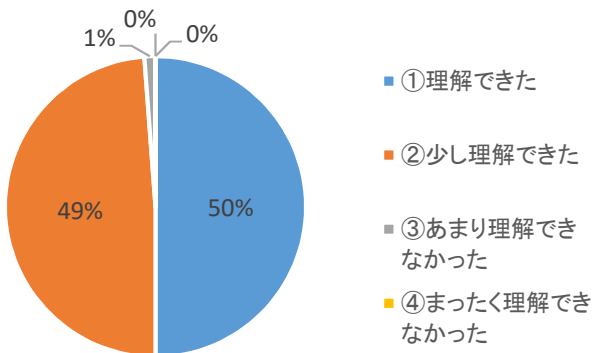
受講者数 84 名

アンケート回答数 84 名

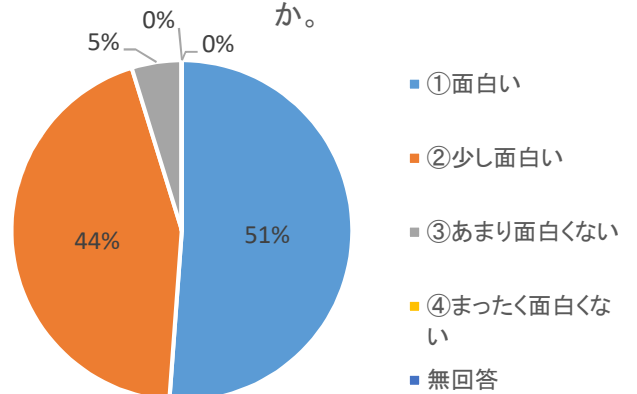
学年	人数
1年	0
2年	80
3年	1
その他	3
合計	84

性別	人数
男	40
女	44
無回答	0
合計	84

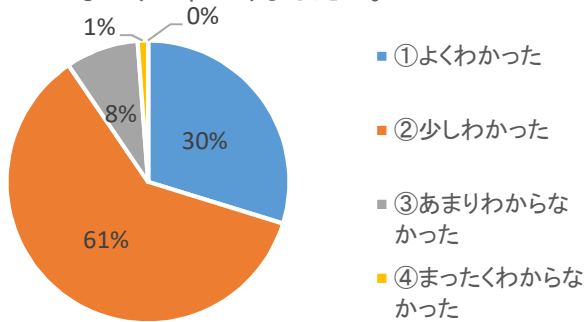
1)研究の動機、目的や意義を理解できましたか。



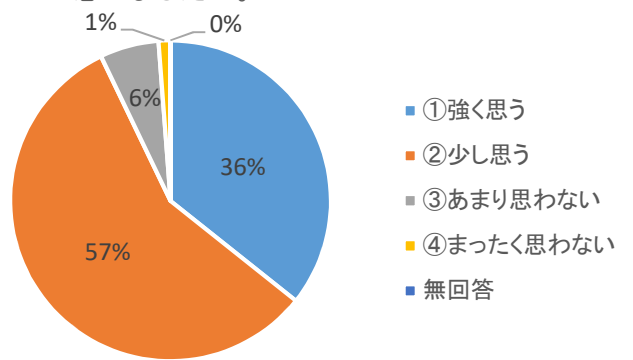
2)研究内容はおもしろそうだと思いますか。



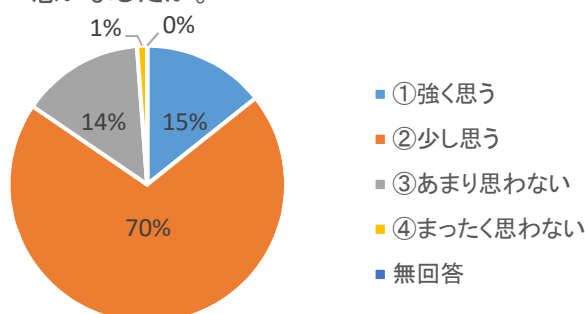
3)高校で学んでいることと大学で学ぶこと
の
つながりがわかりましたか。



4)この講義を受講して大学で学びたい
と思いましたか。



5)この講義を受講して熊本大学で学びたい
と思いましたか。



令和4年7月16日(土)

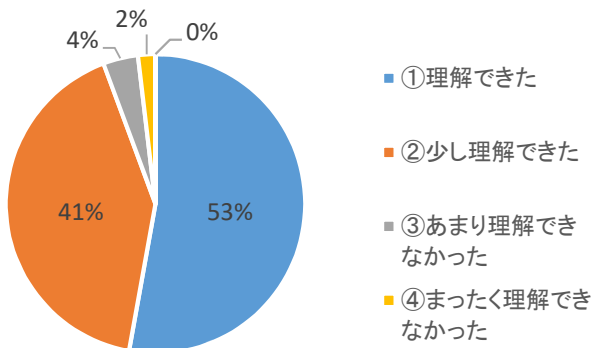
受講者数 53 名

アンケート回答数 53 名

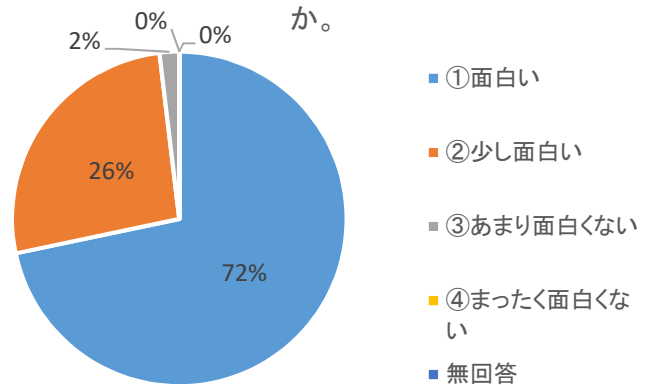
学年	人数
1年	19
2年	23
3年	11
その他	0
合計	53

性別	人数
男	21
女	32
無回答	0
合計	53

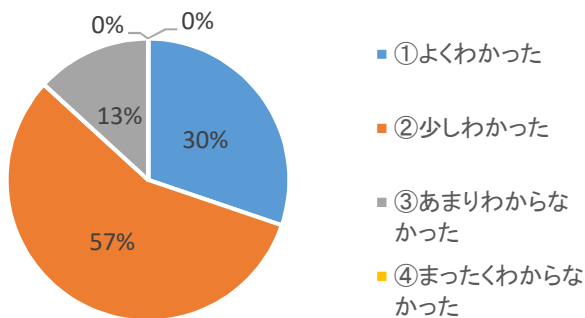
1)研究の動機、目的や意義を理解できましたか。



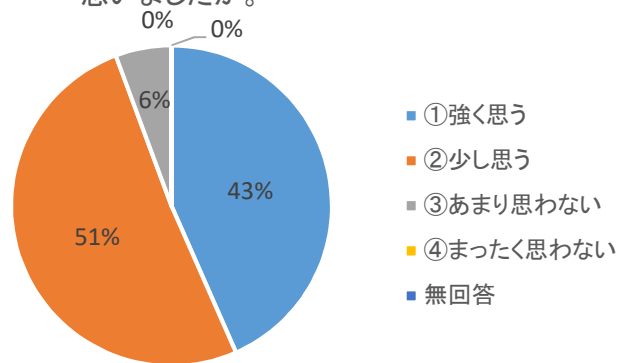
2)研究内容はおもしろそうだと思いますか。



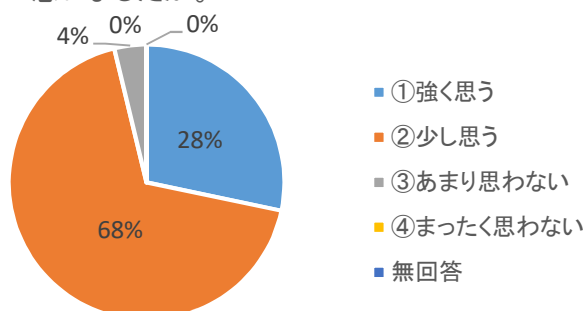
3)高校で学んでいることと大学で学ぶこと
の
つながりがわかりましたか。



4)この講義を受講して大学で学びたいと思えましたか。



5)この講義を受講して熊本大学で学びたいと思えましたか。



令和4年8月27日(土)

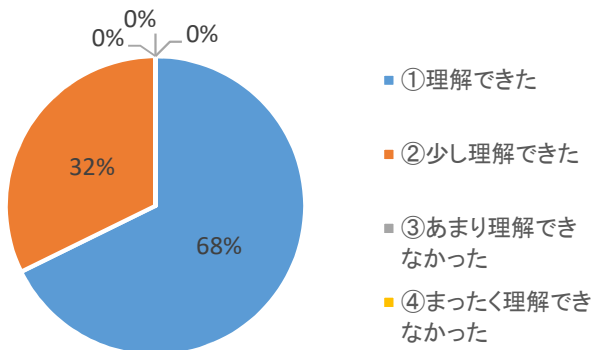
受講者数 31 名

アンケート回答数 31 名

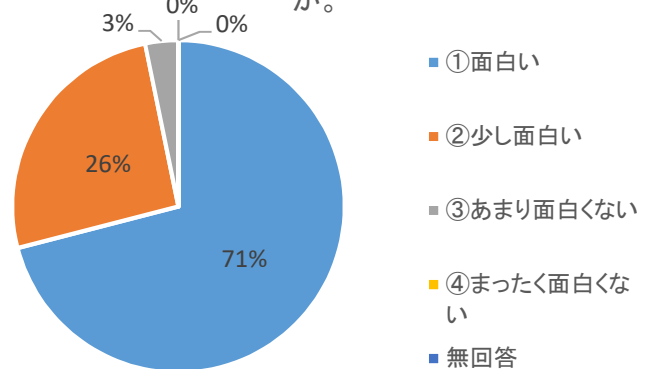
学年	人数
1年	8
2年	21
3年	0
その他	2
合計	31

性別	人数
男	19
女	12
無回答	0
合計	31

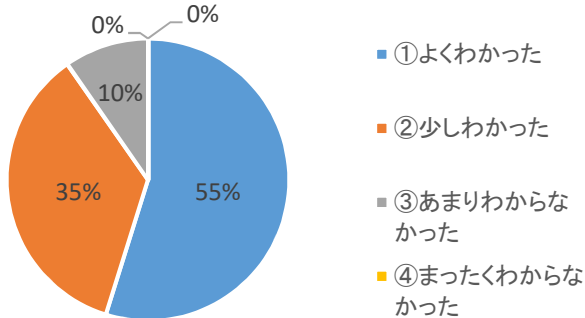
1)研究の動機、目的や意義を理解できましたか。



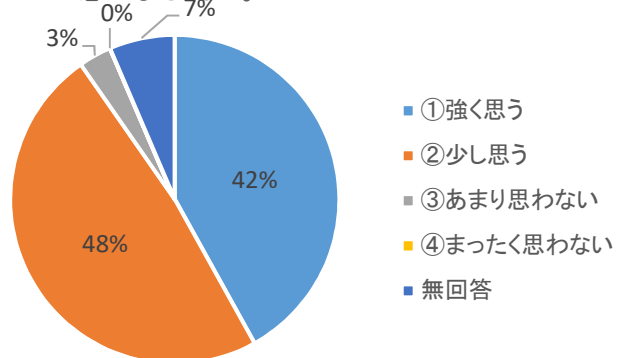
2)研究内容はおもしろそうだと思いますか。



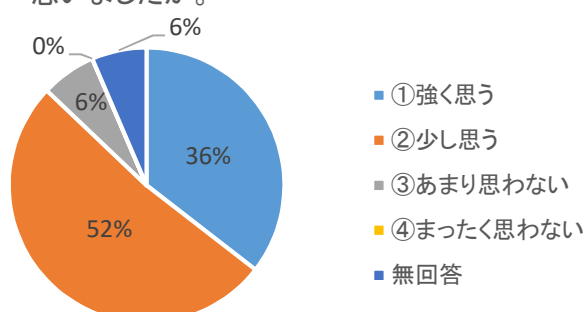
3)高校で学んでいることと大学で学ぶこと
の
つながりがわかりましたか。



4)この講義を受講して大学で学びたいと思われましたか。



5)この講義を受講して熊本大学で学びたい
と
思いましたか。



令和4年9月10日(土)

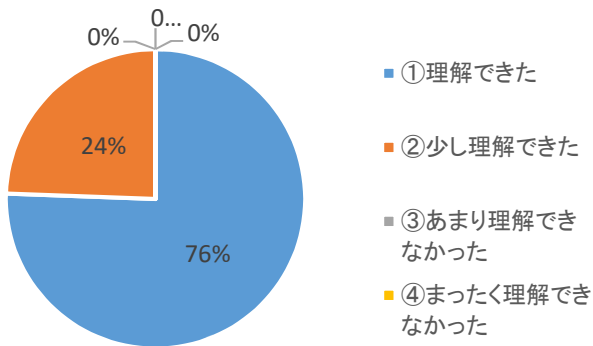
受講者数 45 名

アンケート回答数 45 名

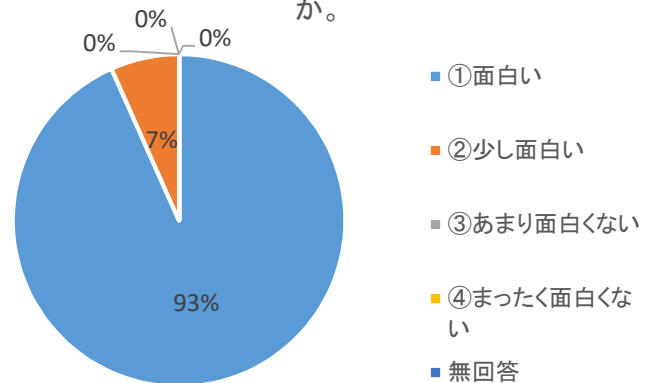
学年	人数
1年	35
2年	10
3年	0
その他	0
合計	45

性別	人数
男	21
女	23
無回答	1
合計	45

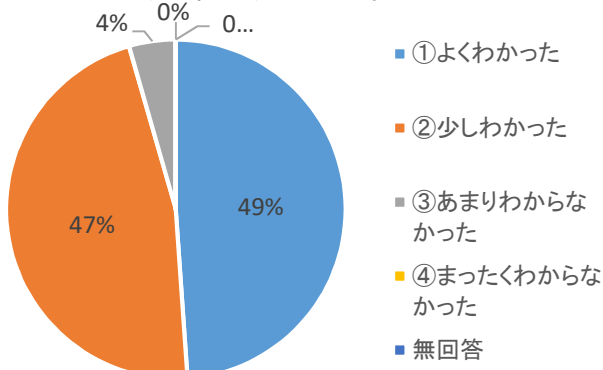
1)研究の動機、目的や意義を理解できましたか。



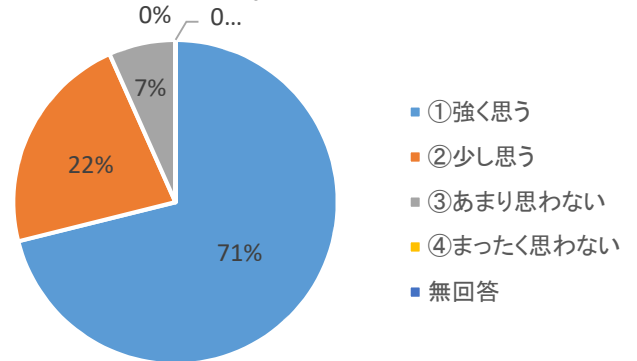
2)研究内容はおもしろそうだと思いますか。



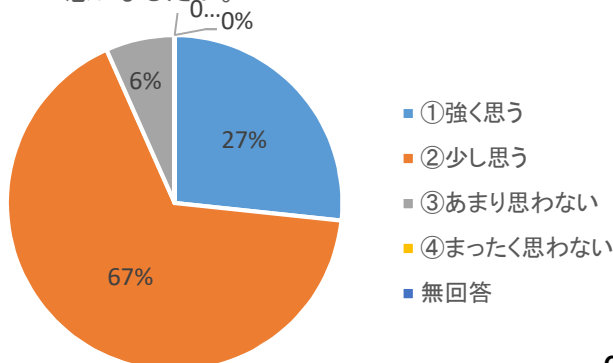
3)高校で学んでいることと大学で学ぶことにつながりがわかりましたか。



4)この講義を受講して大学で学びたいと思いましたか。



5)この講義を受講して熊本大学で学びたいと思いましたか。



R4熊大ワクワク連続講義 荒尾・玉名サテライト 受講者アンケート

令和4年9月24日(土)

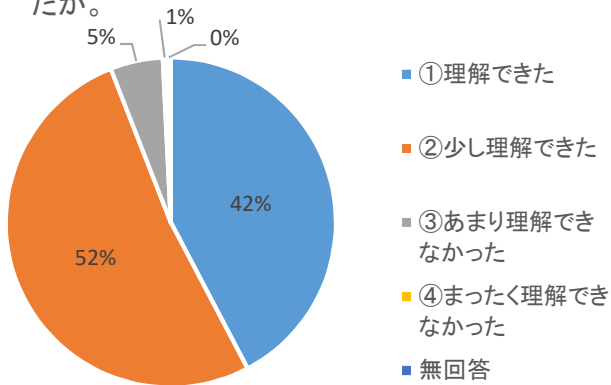
受講者数 253 名

アンケート回答数 253 名

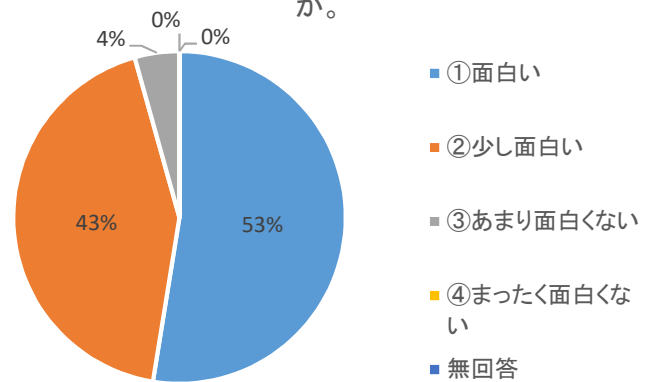
学年	人数
1年	250
2年	2
3年	0
その他	1
合計	253

性別	人数
男	119
女	131
無回答	3
合計	253

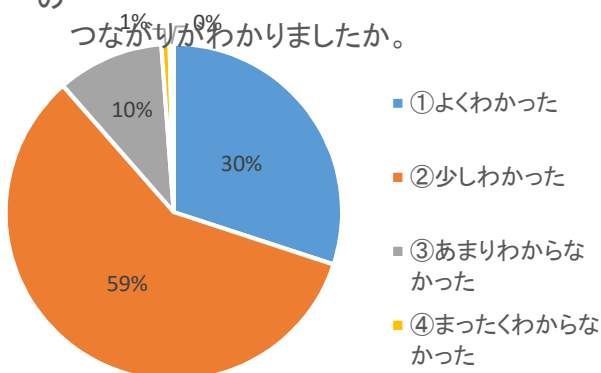
1)研究の動機、目的や意義を理解できましたか。



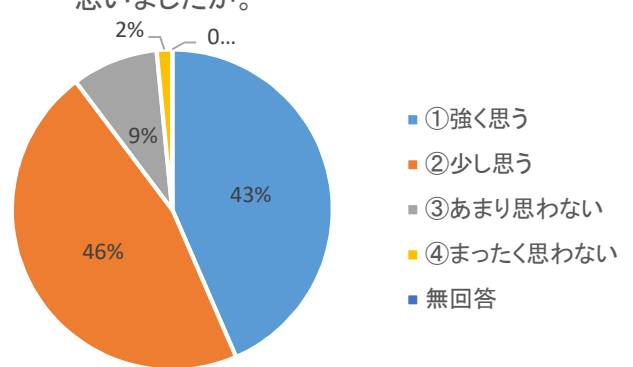
2)研究内容はおもしろそうだと思いますか。



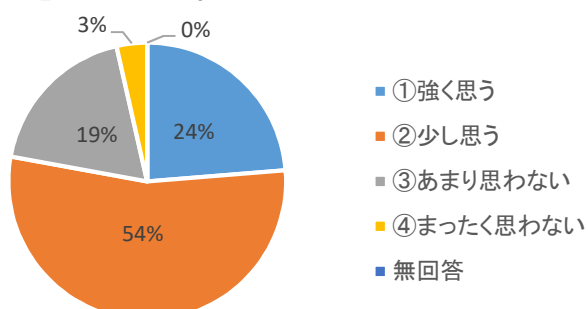
3)高校で学んでいることと大学で学ぶこと
の
つながりがわかりましたか。



4)この講義を受講して大学で学びたい
と思いましたか。



5)この講義を受講して熊本大学で学びたい
と思いましたか。



令和4年10月22日(土)

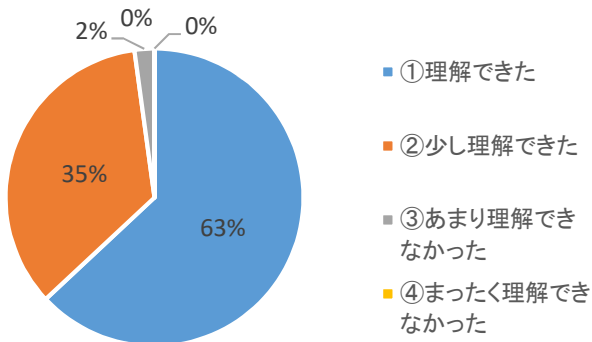
受講者数 46 名

アンケート回答数 46 名

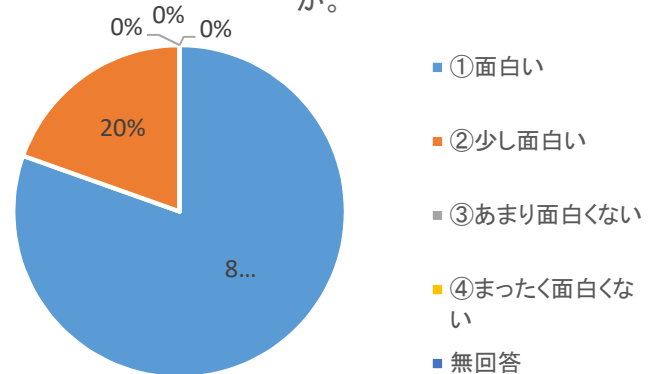
学年	人数
1年	21
2年	18
3年	7
その他	0
合計	46

性別	人数
男	18
女	28
無回答	0
合計	46

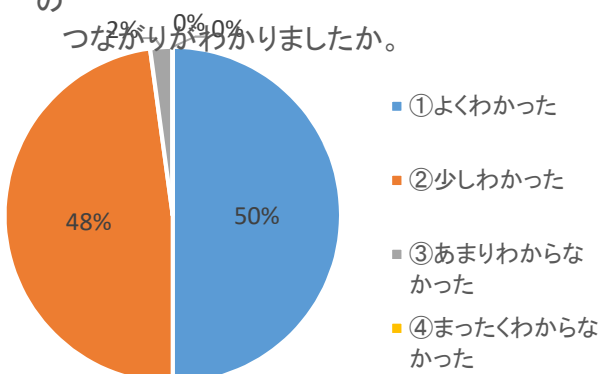
1)研究の動機、目的や意義を理解できましたか。



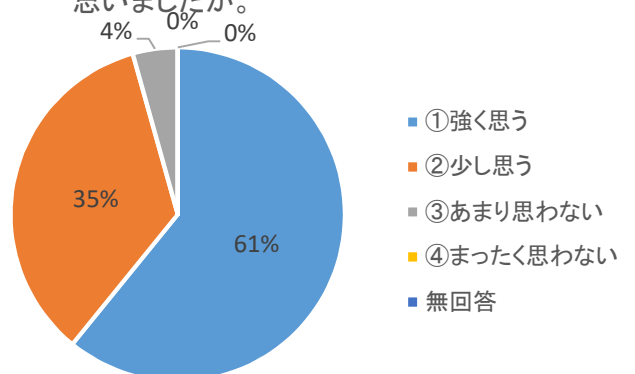
2)研究内容はおもしろそうだと思いますか。



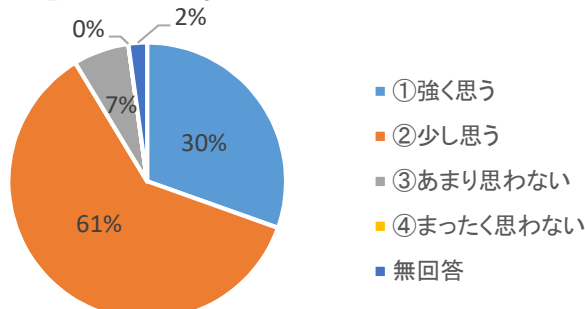
3)高校で学んでいることと大学で学ぶこと
のつながりがわかりましたか。



4)この講義を受講して大学で学びたいと思われましたか。



5)この講義を受講して熊本大学で学びたいと思われましたか。



R4熊大ワクワク連続講義 夏季プログラム 受講者アンケート

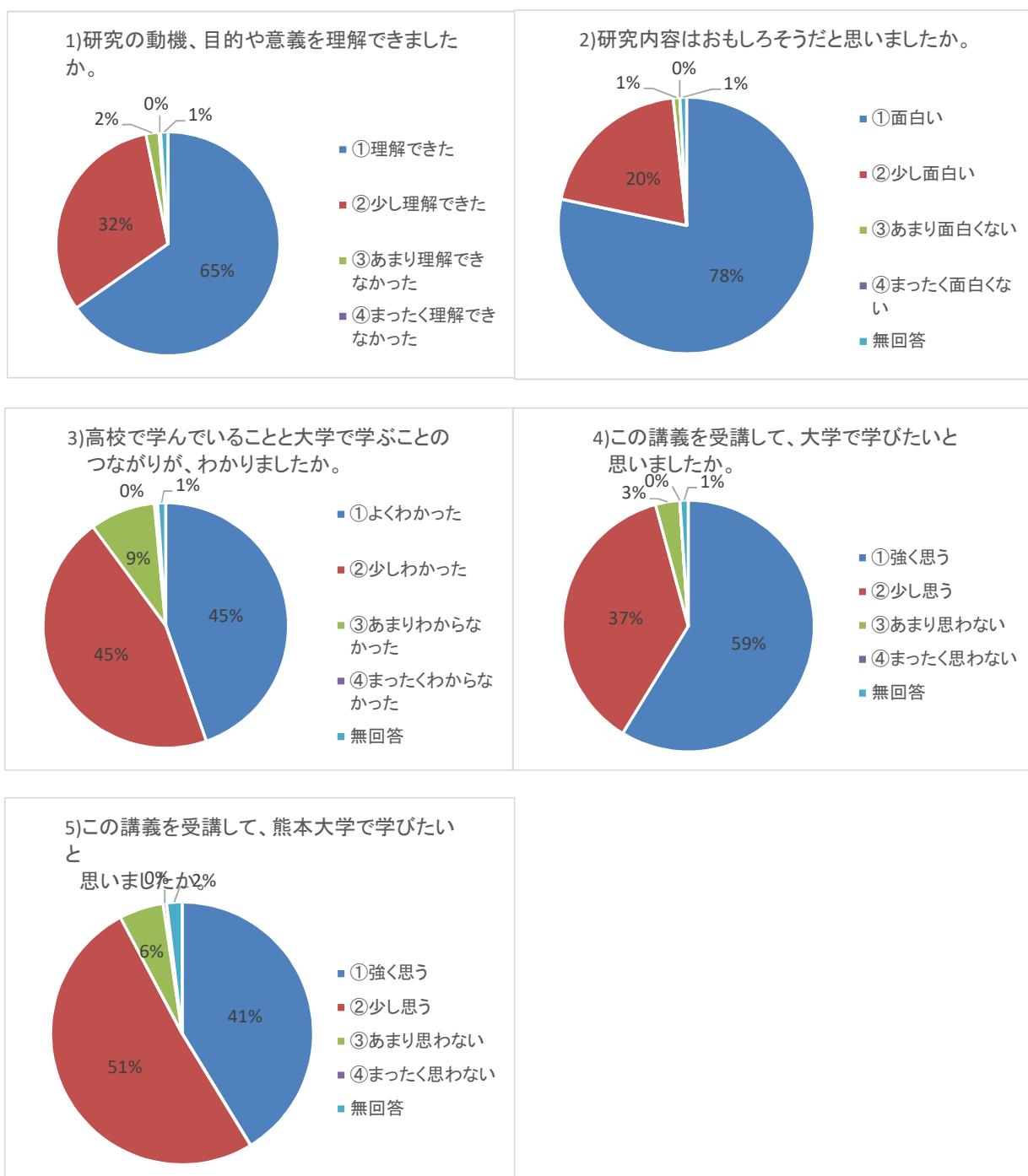
令和4年7月31日(日)

受講者数 475 名

アンケート回答数 475 名

学年	人数
1年	216
2年	167
3年	88
その他	4
合計	475

性別	人数
男	159
女	316
無回答	0
合計	475



令和4年度熊大ワクワク連続講義 全受講者アンケート

申込者数 1399 名

受講者数 1208 名

【全講座】

学年	人数
1年	760
2年	328
3年	110
その他	10
合計	1208

【全講座】

性別	人数
男	504
女	700
無回答	4
合計	1208

1)研究の動機、目的や意義を理解できましたか。

①理解できた	②少し理解できた	③あまり理解できなかった	④まったく理解できなかった	無回答
695	474	30	3	6

2)研究内容はおもしろそうだと思いますか。

①面白い	②少し面白い	③あまり面白くない	④まったく面白くない	無回答
841	339	23	0	5

3)高校で学んでいることと大学で学ぶことのつながりがわかりましたか。

①よくわかった	②少しわかった	③あまりわからなかった	④まったくわからなかった	無回答
474	619	101	7	7

4)この講義を受講して、大学で学びたいと思いましたか。

①強く思う	②少し思う	③あまり思わない	④まったく思わない	無回答
635	502	58	6	7

5)この講義を受講して、熊本大学で学びたいと思いましたか。

①強く思う	②少し思う	③あまり思わない	④まったく思わない	無回答
366	698	115	16	13

【夏季】

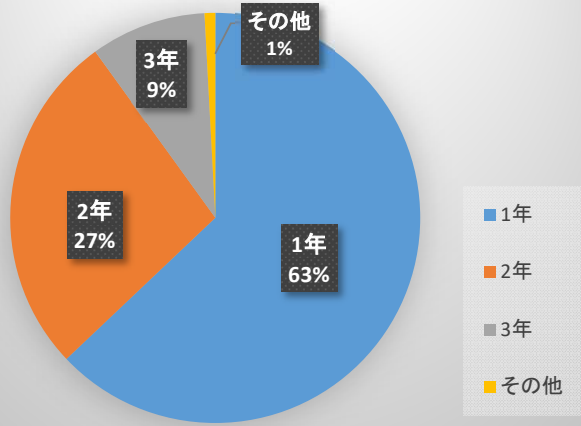
学年	人数
1年	216
2年	167
3年	88
その他	4
合計	475

【サテライト】

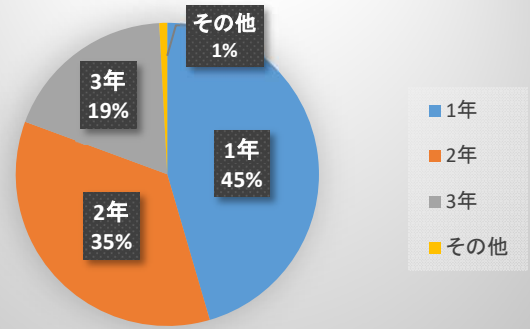
学年	人数
1年	544
2年	161
3年	22
その他	6
合計	733

※その他・・・教員及び学年不明の者

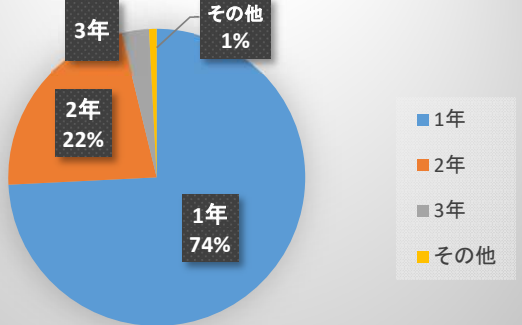
受講者構成(全体)



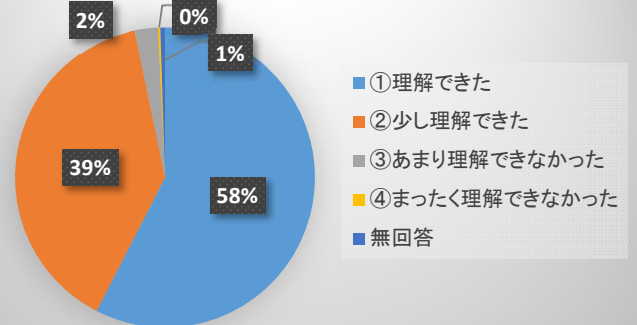
受講者構成(夏季プログラム)



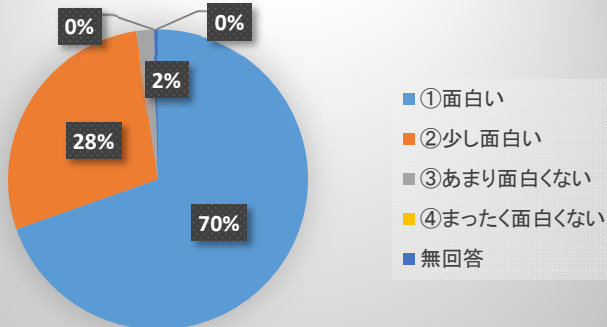
受講者構成(サテライトプログラム)



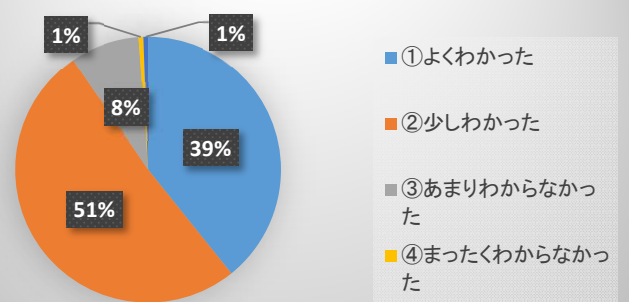
1)研究の動機、目的や意義を理解できましたか。



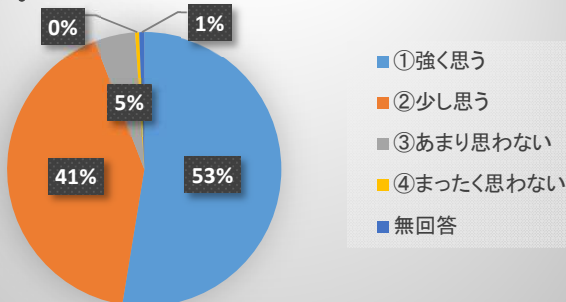
2)研究内容はおもしろそうだと思いますか。



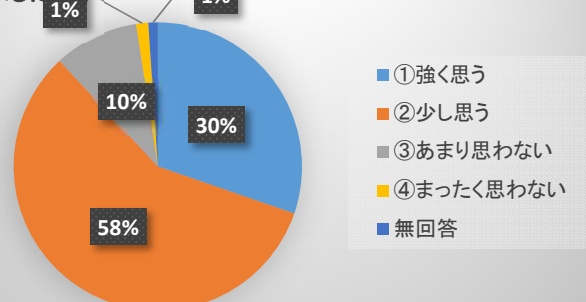
3)高校で学んでいることと大学で学ぶことにつながりがわかりましたか。



4)この講義を受講して、大学で学びたいと思いましたか。



5)この講義を受講して、熊本大学で学びたいと思いましたか。



【ワクワク連続講義風景】

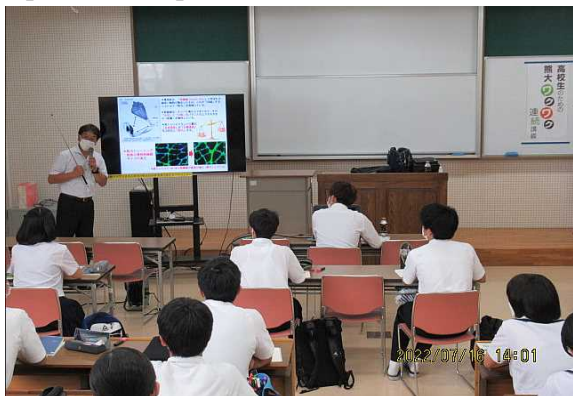
【八代地区サテライト】



【水俣高等学校】



【天草高等学校】



【夏季プログラム】



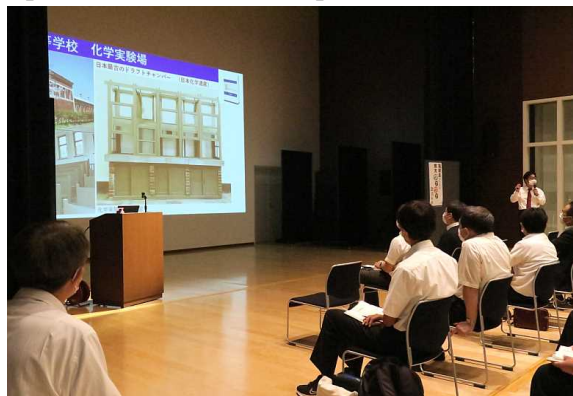
【鹿本高等学校】



【人吉高等学校】



【荒尾・玉名地区サテライト】



【大津高等学校】



3. ワクワク研究室訪問

ワクワク研究室訪問（漱石・寅彦プロジェクト）実施要領

1. 目的

高い学習意欲を持つ高校生が、興味・関心を持つ学問分野への理解を一層深めるとともに、創造性や才能を伸ばすことができるように、本学の研究室を訪問し、高度な教育・研究に触れる機会を提供する。

2. 趣旨

- (1) 高校生が、興味のある研究を行っている研究室を訪問し、研究内容について説明を聞いて、知的刺激を受ける。
- (2) 高校生が部活等で行っている研究について、テーマと関係がある研究室を訪問し、本学の教員に指導・助言を求める。

3. 実施方法

- 1) 高校生は、別紙申込用紙に希望する学部名（分野）、教員名（わからなければ空欄）、訪問の目的、訪問を希望する時期等を記載し、所属高校を通じて熊本大学高大連携推進室（以下「高大連携推進室」という。）に申し込む。
- 2) 高大連携推進室は、高校生が希望する研究室（教員）について、各学部の高大連携推進委員会委員等を通じて探し、該当する研究室に受諾の可否を照会する。
- 3) 研究室が高校生の訪問を受諾する場合、高大連携推進室は高校に回答するとともに、訪問時期の調整を行う。
- 4) 研究室訪問は、基本的に1～3名、月1回、1時間程度とする。高校生が2回目以降の訪問を希望し、教員が受諾する場合、その時期や回数等は教員の判断するところとする。受諾の可否について、教員は高大連携推進室に連絡する。なお、高校生は、2回目以降もその都度、別紙申込書を高大連携推進室に提出する。
- 5) 高校生に研究室での実験を許可する場合は、実験を開始する前に高校生に保険に加入してもらうので、教員は高大連携推進室に連絡する。実験の費用については、教員と高校との話し合いによって決める。
- 6) 高校生は、研究室訪問後毎回2週間以内にレポートを高大連携推進室に提出する。
- 7) 高校生を積極的に受け入れたい研究室においては、URL等で研究の内容を公開し、高大連携推進室に連絡する。

ワクワク研究室訪問 訪問申込用紙

訪問希望者氏名	(学年：)
グループメンバー氏名 (同行予定者)	(学年：) (学年：)
希望学部名 (分野)	
希望教員名 (空欄可)	

《訪問したい時期について》

第一希望	第二希望	第三希望
時期： 時間帯：	時期： 時間帯：	時期： 時間帯：

これまで興味を持って取り組んできた学習や研究 (活動) 内容について

訪問の目的 (研究室にて指導をお願いしたいことはどんなことですか?)

高等学校指導教員記入欄	※大学からは高等学校へ連絡をさせていただきます。
高等学校名：	
指導教員名：	
高等学校住所：	
高等学校電話番号 (連絡先)：	FAX：
高等学校 E-mail：	

送付先 E-mail : gag-koda@jimu.kumamoto-u.ac.jp

令和4年度ワクワク研究室訪問実施件数

R5.3.1現在

	学 部	申込件数	実施件数	参加人数			
				学生		教員	合計
				男子	女子		
県内	文学部	0	0	0	0	0	0
	法学部	2	2	2	3	1	6
	教育学部	0	0	0	0	0	0
	工学部	0	0	0	0	0	0
	理学部	0	0	0	0	0	0
	医学部	0	0	0	0	0	0
	薬学部	1	1	0	2	2	4
県外		0	0	0	0	0	0
合計		3	3	2	5	3	10

【訪問者（一部）のレポート（全文掲載）】

●私たちは、このワクワク研究室訪問を通して、アジアの情勢と歴史について学ばせていただきました。阿部教授は、ヨーロッパにおけるドイツとフランスの関係について話されました。特に、ドイツとフランスは、第二次世界大戦の際に、ナチスドイツによる大量虐殺等の重大な国際問題が起きており、終戦後、ドイツが東と西に分割され、西ドイツ側は、フランスと協力するために様々な謝罪をしてきたという歴史があり、最終的には、EU加盟などによって関係が改善されたというお話が印象に残り、興味を持ちました。私たちは、今回の大学訪問で得た知識を、2023年2月に行われる令和4年度（2022年度）第12回熊本県高等学校生徒地歴・公民科研究発表大会に生かしていきたいです。

●初めは薬品開発を考えていたが、薬品よりも食品をつくる方がハードルが低く、現実性があるという助言をいただいた。現にチドメグサ茶があるため、ブラジルチドメグサ茶をつくろうと考えている。チドメグサ茶にはリラックス効果や、抗炎症作用があるため、似たような効果が期待できると考えている。また、ブラジルチドメグサは重金属や水の汚染物質を吸収しやすく、食料利用の際には水質を調べる必要があることが分かった。更にはブラジルチドメグサの生息地が地質と関係している可能性があることを知り、地質との相関を調査するのも興味深く感じた。多くの論文を読み、沢山の情報を集め結果の残る研究にしたい。

●今回の訪問で、漢方は中国医学ではなく、日本医学であることを初めて知った。また、日本はすぐに病気から薬を決めるが、中国は気、血、水、陰陽、五臓六腑、中因（体の中で起こっている要因）や外因（熱など）を患者に当てはめて薬を決めるなど、考え方の違いについて学んだ。また、即効性がある漢方もあれば、長期間の服用が必要な漢方もあり、漢方に含まれる生薬によって治癒するまでの期間が異なることを知った。私は先生方から助言をいただき、自分の課題研究のテーマを変更することにした。具体的には桑の葉でお茶を作ったり、食品に混ぜたりすることで血糖値は下がるのか研究していきたい。

●高木先生のお話をお聞きして、商売をされている方々の観点から、商店街での後継者問題について考える機会を持つ事ができました。他の県の商店街も衰退していることに驚きました。若い人と高齢者など「どの層に狙いを定めてお客さんを集めていくか」というのは難しい問題ですが、バランスを保つことで人をより惹きつける魅力的な場所にする事ができると思います。今まで持つことがなかった視点から、子飼商店街の活性化について考えることができて良かったです。ありがとうございました。

4. 令和4年度

高大連携推進関係主要行事一覧

令和4年度高大連携推進プロジェクト関係主要行事一覧

月	日	曜日	実施行事	備考
R4				
4			「出前授業」随時受付開始	
5	25	水	第1回高大連携推進委員会	全学委員会
6			「ワクワク研究室訪問」随時受付開始	
6	11	土	「高校生のための熊大ワクワク連続講義」 サテライト八代	2コマ
6	27	月	第1回企画専門委員会（書面会議 6/27～7/15）	副校長及び教頭先生とのWG
6	29 30	水 木	高校教員向け大学説明会	Zoomウェビナー
7	9	土	「高校生のための熊大ワクワク連続講義」 水俣高校	2コマ
7	16	土	「高校生のための熊大ワクワク連続講義」 天草高校	2コマ
7	31	日	「高校生のための熊大ワクワク連続講義」 夏季プログラム	6コマ（2コマ同時開催）
8	27	土	「高校生のための熊大ワクワク連続講義」 鹿本高校	2コマ
9	10	土	「高校生のための熊大ワクワク連続講義」 人吉高校	2コマ
9	24	土	「高校生のための熊大ワクワク連続講義」 サテライト玉名	2コマ
10	22	土	「高校生のための熊大ワクワク連続講義」 大津高校	2コマ
12	14	水	第2回高大連携推進委員会	全学委員会
12	19	月	熊本大学と熊本県高等学校校長会との協議会	
R5				
2	9	木	第2回企画専門委員会	副校長及び教頭先生とのWG
3	23	木	第3回高大連携推進委員会（書面会議 3/23～3/29）	全学委員会

令和 4 年度
高校生のための熊大ワクワク事業の記録

発行日： 令和 5 年 3 月

編集： 熊本大学高大連携推進室

連絡先： 096-342-2712